

# 「エンドロール」

—初稿—

2025/8/4

さいの

## 〈人物表〉

山本 燈 やまもと あかり

(19)

地下アイドル「ジャムジャム」のメンバー

藤崎 夢香 ふじさき ゆめか

(20)

「ジャムジャム」の元メンバー

桐原 真衣 きりはら まい

(23)

「ジャムジャム」のリーダー

酒井 健吾 さかい けんご

(38)

「ジャムジャム」のマネージャー

大河原 進 おおがわら すずむ

(42)

映画監督

今川 元 いまがわ はじめ

(37)

大河原の助監督

堂島 翔子 どうじま しょうこ

(32)

フリーのライター

1. 映画館・シアター入り口（昼）

こぢんまりとしたミニシアター。上映中の立札。

2. 映画館・シアター内（昼）

客はまばら。

スクリーンに映る藤崎夢香（20）、笑っている。

客席に座る山本燈（19）、虚げな表情で観ている。

3. （回想）ライブハウス・楽屋（夜）

七人組アイドルグループ「ジャムジャム」の楽屋。

狭い中、忙しなくメイクや衣装の準備をしている。

燈、夢香と並んで鏡前に座ってメイクをしていて、

夢香 「行かないよ、プリクラなんて」

燈 「え、なんで？ また行こうよ」

夢香 「もう卒業した。もっと年相応なオフの使い方あるよ」

燈 「例えば？」

夢香 「……川沿いで、ぼーっと鳥を眺めて、写真に収めるとか」

燈 「何それ」

夢香、スマホを見せる。飛び立つ水鳥の写真。

燈 「え、すご。これ夢香が撮ったの？」

夢香 「芸能界の荒波を生き抜くには、こういう癒しがいるのよ」

燈 「いやいやうちら、自称芸能人だから」

二人、笑い合う。

マネージャー酒井健吾（38）、急いでやってきて、

酒井 「……夢香、映画の仕事、決まった」

夢香 「え？」

4. （回想）都内ホテル・記者会見場（昼）

報道陣の前に並ぶ監督・大河原進（42）と、夢香たち出演者ら。映画のタイトルや公開日が書かれた横断幕を掲げている。

フラッシュが浴びせられ夢香、緊張した面持ち。

× × ×

夢香 「（マイクを持って）今回初めての女優挑戦となるのです

が、デビュー作を大河原監督の作品で……」

5. (回想) レッスンスタジオ (昼)

桐原真衣 (23) ら、ジャムジャムのメンバーたち、スマホで夢香の会見の動画を見ては、感嘆の声。

真衣 「あ、隣の人テレビで見たことある。すごい」

燈、手元には映画のポスター。主演陣の後ろに小さく、夢香がちょこんと映っている。

燈 「……芸能人みたい」

酒井 「しばらく夢香は別スケジュールだけど、グループとしても踏ん張りどころだからな。よし、休憩終わるぞ」

メンバーたち、意気込んでダンスレッスンを始める。

6. (回想) 撮影スタジオ (昼)

今川 「はい、カット」

と、助監督・今川元 (37)。

夢香 「(周囲に頭を下げて) すいません、間違えました」

今川 「夢香ちゃん、もうちょっと頑張ろうか」

夢香 「……はい」

監督・大河原進 (42)、その様子を見ている。

7. (回想) ライブハウス・楽屋 (夜)

酒井 「夢香は今日も撮影終わり次第こっちのリハ合流だから。

色々フォローしてやってな」

夢香 「酒井さんすいません、遅くなりました」

真衣 「おつかれー」

と、メンバーたち、夢香に駆け寄って、労いの言葉。笑顔で応える夢香。

夢香の裾からわずか、手首が腫れているのが見える。燈、それに気づく。

8. (回想) 撮影スタジオ (昼)

大河原、男性キャストの一人の頬を執拗にビンタ。  
大河原 「何回やんのお前」

夢香、駆け寄って、

夢香 「すいません、今のは私が」

今川 「いやいや夢香ちゃんには出来ないから」

夢香 「あの、今のは本当に私の間違いで」

今川 「夢香ちゃんにはさ、しっぺまでだよ」

夢香、咄嗟に手首の腫れを抑える。

大河原 「次で決めよう。次で決めたらいいんだから」

一同、口々に返事する。

夢香 「……はい」

## 9. (回想) 撮影スタジオ・楽屋(夜)

夢香 「(廊下に向かって) ……お疲れ様でした」

夢香、楽屋に入るなり、力が抜けたように座り込む。

夢香、静かに涙を流す。

スマホに通知。燈からのメッセージ。

## 10.

## (回想) 川辺の公園・吊り橋(昼)

白い水鳥の群れ、川辺に向かって一斉に飛んでくる。

燈と夢香、吊り橋の上でその様子を見上げている。

燈、呆然としている。夢香、一眼レフに収める。

燈 「すご」

夢香 「でしょ？」

降り立った水鳥たち、川辺を優雅に歩いている。

燈 「芸能界で荒んだ心は癒えましたか？」

夢香 「もちろん」

燈 「……心配してただけど？」

夢香 「ありがとう」

燈 「手首、どうしたの」

袖から手首が覗いている。腫れや、小さな内出血。

夢香 「誰に、やられたの？」

夢香 「(しれっと) ……監督」

燈 「マジ？」

夢香 「大丈夫。ちょっとコッソンって、デコピンみたいな感じ」

燈 「デコピンじゃないでしょ？ 酒井さんに言った？」

夢香 「言ってない」

燈 「……言っただけよ？」

夢香 「それはやめて。お願い」

燈 「……なんで？」

夢香 「私さ、そろそろこの仕事辞めようと思ってたんだよね」

燈 「……は？」

夢香 「燈も一生これ続けるわけじゃないじゃん？ 終わり方は考えてるでしょ」

燈 「それは、そうだけど」

夢香 「映画の話聞いた時、これで最後の思い出にしたらちょうど良いかなって思ったの。もうすぐ撮影も終わるし、酒井さんには黙ってほしい」

燈 「夢香は、本当にそれでいいの？」

夢香 「（頷いて）これが私の最後のお願い。だって、めちゃくちゃいい映画なんだよ。子供出来たらさ、お母さん出る映画だよって、エンドロール見せて自慢したいんだ。その時に変な噂とか出てきたら嫌じゃん？」

川辺を優雅に歩く水鳥の群れ。

燈 「……こいつら、次いつ飛ぶの？」

夢香 「多分、あと何時間かはこんな感じ」

11.

（回想）撮影スタジオ（夜）

今川 「はい、これで全編オールアップ。お疲れ様でした」

出演者、スタッフ一同拍手。泣いている者もいる。  
和やかな雰囲気。

× × ×

今川 「あ、夢香ちゃんさ、今日パーティー来る？」

夢香 「パーティー？」

今川 「夜、仲良い人たちで軽く打ち上げみたいなの？」

12.

（回想）ホテル・廊下（夜）

夢香、エレベーターから出てくる。

メモ片手に一室の前で立ち止まり、ベルを鳴らす。

13. (回想) ホテル・室内(夜)

今川、勢いよくドアを開く。かなり酔っている。  
今川 「あ、夢香ちゃん来ましたよ。ほらこっち」

と、強引に夢香の腕を引っ張る。  
ベッドの上にはバスローブ姿の大河原。

夢香 「……え？」

14. (回想) ライブハウス・ステージ上(夜)

真衣、満員の客席に向かって、

真衣 「……先ほど発表しました通り、しばらく体調不良でお休みしていた夢香が、今日をもってグループを卒業することになりました」

残念がる観客の声。

真衣 「体調が戻らず、今日のライブにも来ていません。最後に一人ずつ、夢香にメッセージを……」

燈、マイクを持って、

燈 「あの、夢香の映画、みんな絶対に見てください。良い映画だと言ってたので、絶対ですよ」

15. 映画館・シアター内(昼)

スクリーンにはエンドロール。

燈、夢香の名前を見つけるが、込み上げるものを我慢して客席を立つ。

16. 帰り道(昼)

燈、涙を堪えながらスタスタと歩いている。

ライター・堂島翔子(32) 歩み寄って、

堂島 「あの、すいません」

と、避けようとする燈に立ち塞がる。

堂島 「山本燈さん、ですよね？」

燈、立ち止まる。

堂島 「大河原進監督のハラスメント疑惑について取材していて、同じグループの藤崎夢香さんと連絡が取れなくてですね、事務所も分からないみたいで、もし何か知ってたら……」

燈、ダッと一目散に駆け出す。

堂島 「あ、ちょっと」

17.

どこかの物陰（昼）

燈、立ち止まって息を整えている。

ふと、右手で握り潰していたものを開く。

映画のフライヤー。表面には夢香の写真。

（おわり）